

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

2015年産フランス産/オランダ産百合球根在庫表送付

及び当社試験栽培開花状況について

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

2015年産フランス産/オランダ産百合球根在庫表を送付いたします。

尚、今回の価格表は、7月10日受注分まで適応とさせていただきます。

よろしくご確認ください。

当社試験栽培温室 A.H/L.A は、開花が3～4日遅れ、その後の天候具合もあり、今日現在（23日現在）80%以上の品種が確認できる状況です。（もう少しで終了です。）

もう一つ明らかなのは、「確実に花保ちが伸びてきている」と言えます。

苦土欠感受性の高い品種も、今年は少なかった様です。（気象要因があるかもしれない。逆に今年出る様では…。）

着実に進化しているように見えます。

特殊な花色・特殊な咲き方を「スペシャル・スペシャル」というカテゴリで説明させていただいております。

今日現在の主力品種から、将来生産地作型毎に、目的に合わせた球根導入が出来る新品種開発を「育成・スペシャル」と言うカテゴリで説明させていただいております。（従って、来訪者ごとに説明が変わります。）

A.H/L.A については、昨年あたりからその兆しが確認され始め、本年紹介の品種は各色とも冬用・夏用・施設用・露地用、使い方がイメージしやすい品種が数多く確認されてきました。

すごいです。楽しみになってきました。

「これ良さそうだからやってみれば…」そんな品種が複数種、一度に出てくるのは珍しいです。

O.T系は、やっと「コンテスト用の百合はいらないうぜ！」と言えるところまで進化してきた様です。

豪華でボリュームのある、立毛で見てくれの良い百合ではなく、ちゃんと作れて、箱に20本以上入って枝が折れない品種、16/18サイズが使える品種…まだ厳しい…数は少ないですが、出てきました。

きっとびっくりすると思いますよ！

1/3くらい咲き始めました。

ほぼ諦めかけていたO.H系の進化・開発。昨年までは、『真っ暗闇だった、O.H系新品種群』の中に、やっと『暗いトンネルの先の光』くらいですが兆しを感じられるものが出てきそうです。

夏作で、丈が伸びる、水が落ちにくい（花芯のリスク軽減）、作業中に花傷みが出にくい品種、そういった品種が大輪系ではなく、小中輪系に確認され始めています。

流通に乗るのは、まだしばらく先の話ですが、4年後/7年後、東京オリンピック前後からそれ以降の主力品種が見えてきつつある様です。

O.T系同様、「コンテスト用の百合」ではない、「仕事をしてくれるタイプ」の百合、ただ輸付きが良いだけではなく、ちゃんと水が上がる、ちゃんと草丈が伸びてくれる品種群、「酷暑期対策用品種の開発」が最もハードルの高い開発なのです。

この開発に、茎の硬さが加われば、アジア・オセアニア市場のほぼすべての国・作型をカバー出来るはず。 (色合いは考慮して…。) それらの品種群は、南半球産ですらアジア・オセアニア市場を考えれば需要度が高いのです。

A, H/L, A 開発と同じ言い方して良ければ、「スペシャル・スペシャル」ではなく、「育成・スペシャル」の開発の難しさ…。

どうやら開発のキーワードは、「パートナーシップ」という事になりそうです。

育種会社/球根農家 (又はグループ) ; 輸出会社/輸入会社 ; 切花農家/生産団体/切花産地/農協 ; 市場/買参人/消費者に、提案していけるか? 支持される商品開発が出来るか?

当社にとって2014年は最悪の年でしたが (逆境をばねにはと言えないような厳しさ…。)、どうやら2015年は『新たな出発の年』となりそうです。

一方、厳しい言い方になってしまいますが、様々な意味で『終わりの始まりとなる年』にもなりそうです。

あまりにも中途半端な品種が多すぎる…。

丈が伸びない。伸びてもやわらかい。水が落ちる。

輪は付くが、水が上がらない。

丈は伸びても、球根が腐りやすい。

花は豪華だが、花弁や蕾が傷みやすい。

『それらに見極めをつけない球根流通方法…。』

特に輪は付くけど、水が上がらない…そういう品種には、気を付けないと…。

八重のO.H系は…、

¥600~¥800-で売れ続けるのでしょうか?

¥400~¥500-で売れ続けるのでしょうか?

¥400~¥500-で原価計算した時に…合いますか?

¥300~¥400-で採算性が維持できる球根価格・作業性の良い品種…。

普通のO.H系ハリア並の作業性、少なくともプレミアムポイントより扱いやすい品種…。

だいぶ時間がかかりそうですね。

百合育種会社は、『種間交配品種』⇔『L.A・O.T・L.O・etc.』というだけで、選抜の基準を下げてしまいがちだった…。

『八重』というだけで興奮してしまう…。

これから以降の八重O.H系は…、(沢山咲いてきました。特に隔離温室で…。)

当面は、『国産球』、『日本産球根』がカギを握っている様な気がします。(花保ちとボリューム…。)

しばらくは、超高級花路線ですよ…。価値のある品種の見極め…そうではない品種に500~800円は?

ここに至るまでに生き残ってきた切花産地は、皆立派です。

今日現在の日本のO.H/O.T系切花流通は、改めて考えると、日ごろ感じている事と違う状況になって来ているのではないのでしょうか?

輸入切花/埼玉大手切花生産会社様生産分を除く (これらの供給量の多い市場を除くという意味)、国産O.H/O.T切花流通状況は、

ハリア（一部同系統品種、例えばコンスタンタ）：25～30%シェアに到達??

（どうやら、30%に近づきつつある様子。この品種は、コンディション別の重要性が際立っている品種ですよね！これだけのシェアになれば当然でしょ！もうすぐ30年ですよ！オブラカについて長命！様々なクセが付いてきて当然ですよ！）

15年産ハリアMAKは、オランダ産では開花球根生産が無い！フランス産にしかない！夏向き球根しかない…。うそつき営業・注文囲い込み営業は止めましょう…。）

ハリアを含む白系O.H/O.Tシェア率は、50～60%（55%を超えつつあり、ある特定の市場では、流通月によっては60%を超える勢い！）

オブラカ：？今何本くらいになったのでしょうか？500万本内外？どこまで減らしますか？

色物は？どこまで多様化するのでしょうか？

周年安定的に生産流通する品種がなくなりつつある？

ここしばらくの品種開発は数万球～数十万球単位のユニットで動いていく事となる？

各産地とも…自分たちに合った品種を開発しましょうね！

それから…その後が見物です。

新潟県内のある切花産地で、「これは？」って思う動きが見えてきました。

2月中旬～5月下旬定植作型のO.H系品種球根使用サイズ16/18、60～80%目標！

これをハリア以外の品種で出来れば？（ハリアを含む既存品種では無く…新しい品種で…。）

水が上がりれば？花保ちが維持できて、平均販売価格を¥250～¥350-の価値観のある品質の百合が出来れば…。（相場モノですから…あくまでも価値観。）

しかも採花時期が6月期/7月期において…。

すごい挑戦だと思いませんか？

気が付いてますよね？

16/18と18/20サイズの球根価格差。18/20と20/22サイズの球根価格差。パーセントで示せば、どちらが大きいのかという事…。

『この品種をやれば儲かる。』なんて時代はとっくの昔に終わっている様です。

『こういう経営をしたい。』そのためのツツが『品種』だと思います。

ご自身に合った品種を見つけましょう！主要品種が流通しない花卉品目の意味。O.H/O.T系切花市場は、変わりますね！ベース品種が無い事の意味。若い人たちは、様々な統計資料を分析して考えていきましょう。

今、16/18～20/22サイズセット買いをしている切花農家に、朗報です。

近い将来、20/22サイズ以上O.H系を消費してくれる市場が日本以外に出来そうです。

16/18・18/20を日本市場が使って、20/22以上サイズを他国が使える品種の開発が出来た時、「骨折ってくれた人が報われる」そんな状況が作れればと思っています。この事はオランダ球根農家/輸出業社は、絶対忘れません。（パートナーシップ…中には忘れる奴もいます…残念ながら…。）

*『ある輸入会社は、全サイズのセット販売ししかない。』なんで、そんな嘘までついて営業する会社がいるのでしょうか？悔しいです。

私個人的には、このままのポジションを維持して、東京オリンピックまで突っ走りたい。

やれることが増えたもの。そしてその後は…？

よろしくお願い致します。

ご不明な点等、お問い合わせください。



<http://www.lily-promotion.jp/>
私共はLJの運営に賛同し
協力・応援しています

以上 森山 隆